農業農村整備(NN)事業まんぞく度調査

オホーツク総合振興局
東部耕地出張所
H26年3月作成

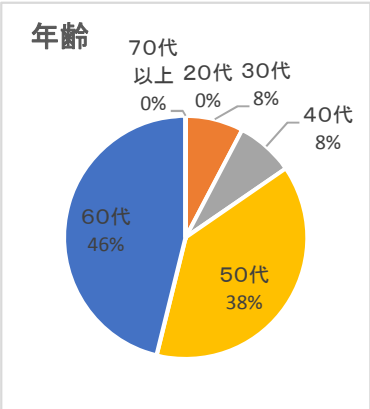
事　業　名	：	畑地帯総合整備事業
地　区　名	：	網走東部　地区
市　町　村	：	網走市
受 益 面 積	：	583.2ha
受 益 戸 数	：	54戸
採 択 年 度	：	H18年度
工　　期	：	H18　～　H25

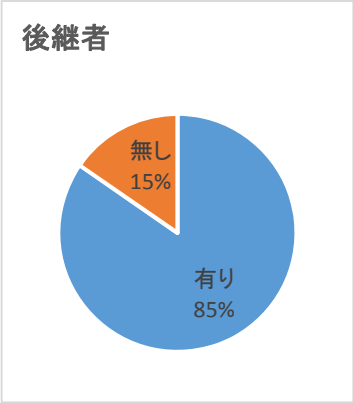
事業内容

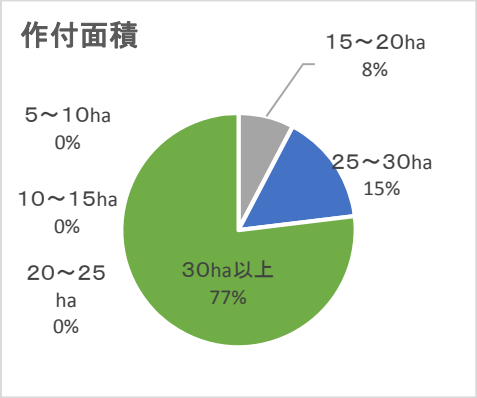
工　種	整　地	暗渠排水	客　土	心土破砕	土壌改良	合　計
区画整理	48.8ha	24.9ha	1.3ha	23.4ha	13.3ha	56.7ha
暗渠排水		350.6ha				350.6ha
土層改良			256.1ha	90.9ha	47.7ha	317.6ha

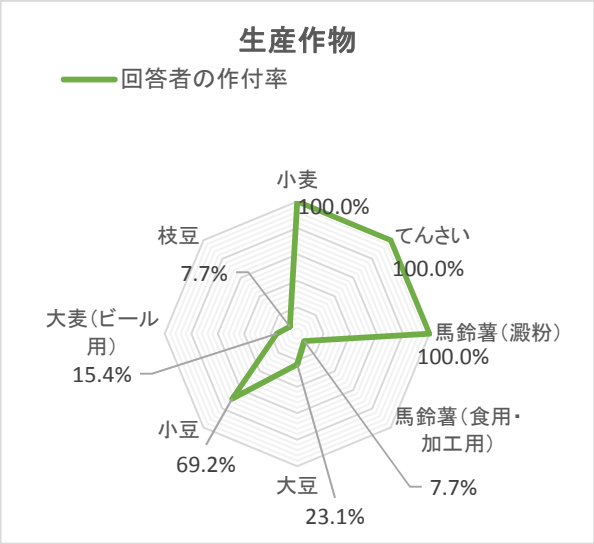
アンケート回収率　　13　／　：　54戸　＝　24.1%

Ⅰ基本事項









【考察】

年齢：５０～６０代が中心

後継者：８５%が後継者有り

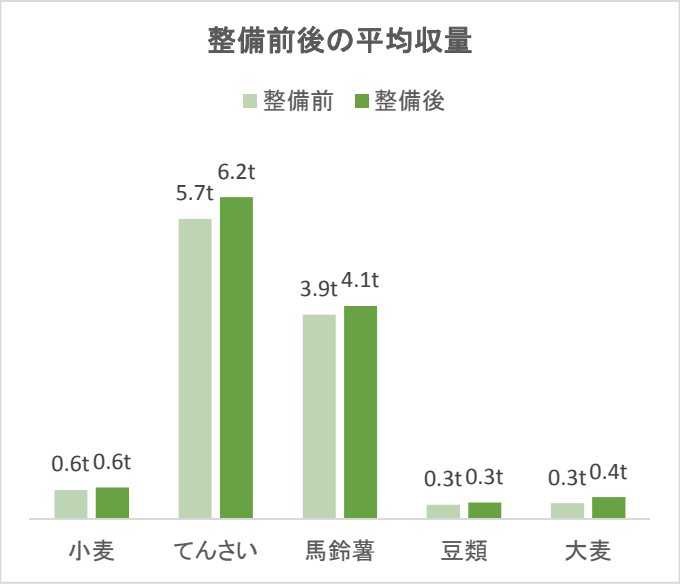
作付面積：３０ha以上の大規模農家多数

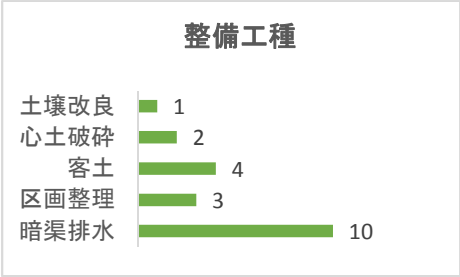
生産作物：畑作３品が主

大麦はサッポロビールとの契約栽培

Ⅱ　事業効果

■１　収量効果：整備前後の平年収量と、減少した場合の理由

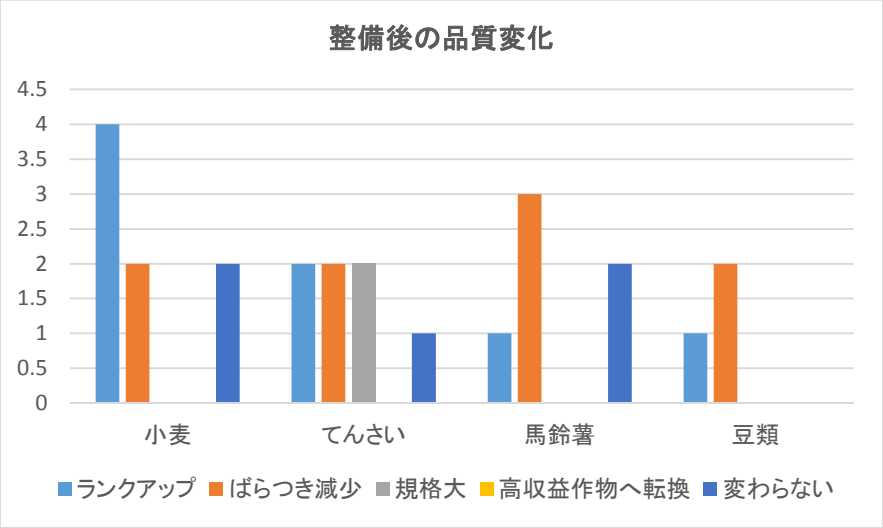




○整備したが収量が落ちた要因

- 干ばつ
- 昨年は作付遅れ
- 多雨
- 区画整理による土壌の移動、地力の低下
- 降水が多く、種子の発芽が悪かった。

■２　品質：事業整備後の品質変化



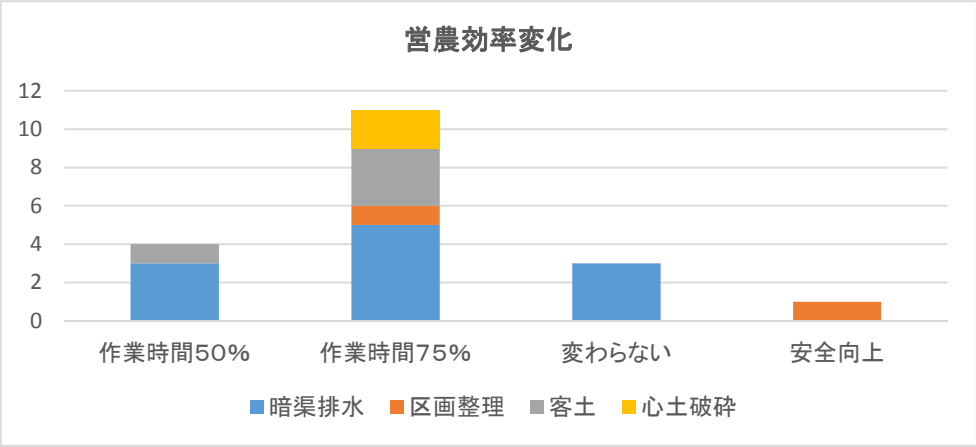
【考察】

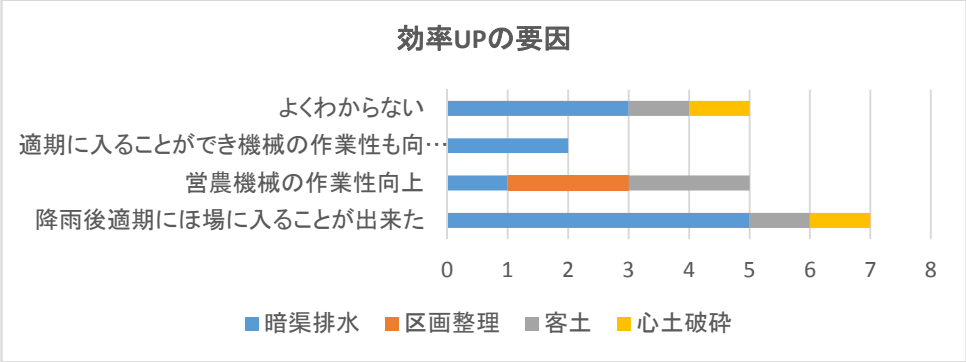
暗渠排水が主な整備内容。

天候による悪条件の中、若干であるが収量UPしている。

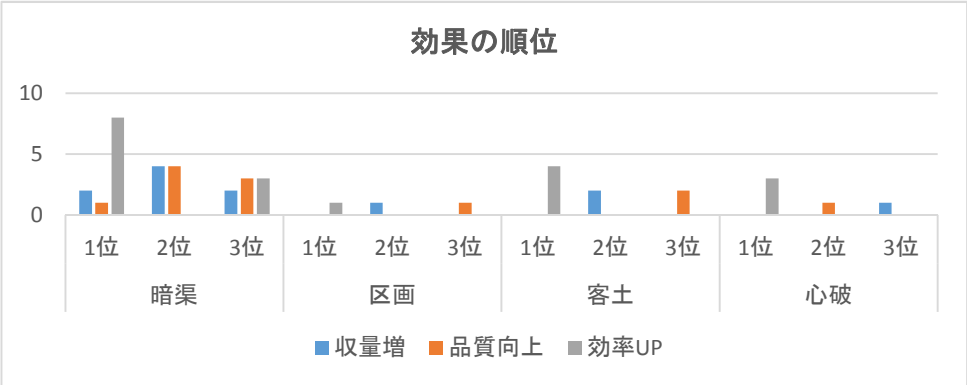
全般にばらつきが減少した。

■３　営農効率：整備後の営農効率の変化とその要因





■４　効果の高かった順位（工種別）

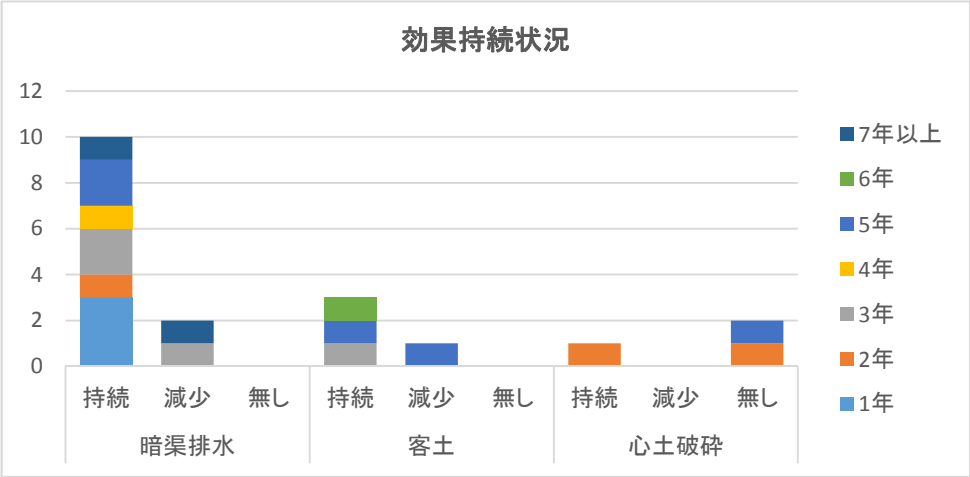


【考察】

全般的に作業効率は上がっている。

地耐力が上がり、営農機械の作業性が向上した。

■５　効果持続状況



○ 効果が無くなった要因

暗渠排水　・排水が良くなると思ったが、思っていた程効果が上がらず大変な思いをしています。

・大型営農機械の踏圧により。

・部分的ではあるが、低い場所が最初から効果が出ていなかった。

・雨の為の流土。

区画整理　・機械による踏圧。

客土　・まだ実効果がない。

心土破砕　・心土破砕の効果減少。

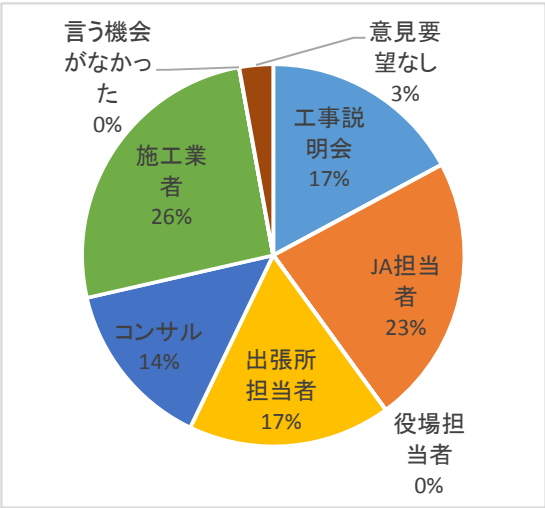
【考察】

暗渠は、７年以上（１５年）経っても効果持続の回答あり。

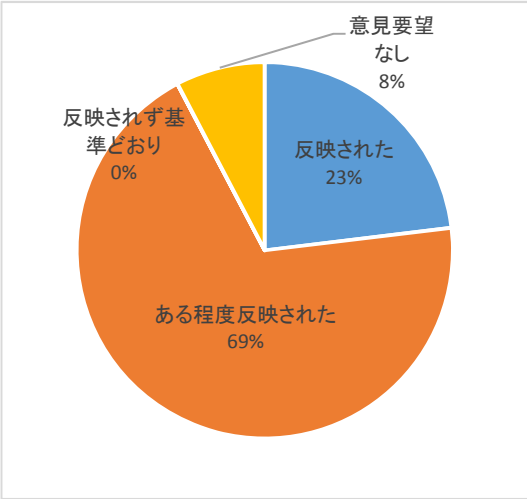
心破の効果持続性は低い。

Ⅲ　工事内容

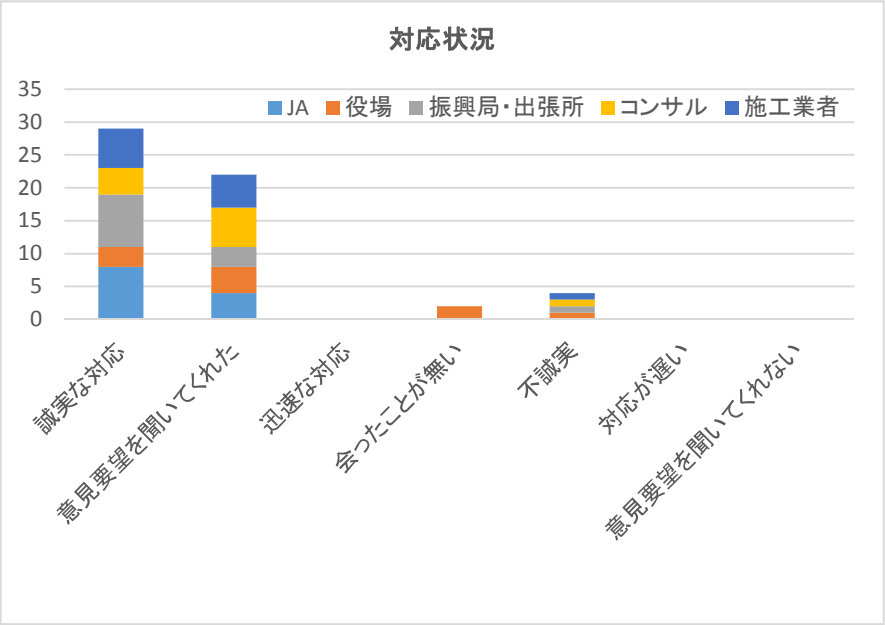
■１　工事に関しての意見要望先



■２　工事への要望反映



■３　所属担当者の対応

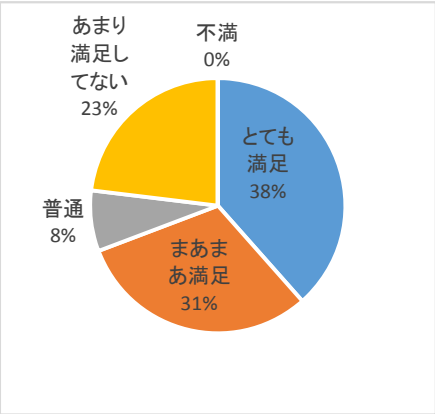


■４　工事監督員対応の評価

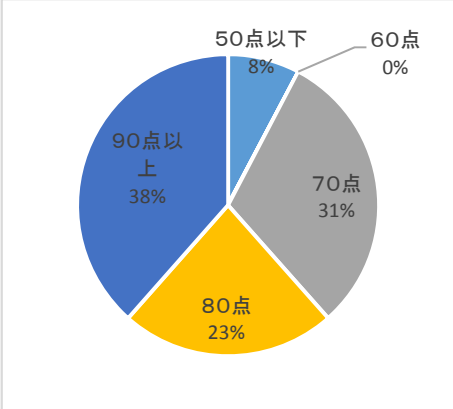
○ 良かった点
- ある程度要望を聞き入れてくれた
- 意見等を聞いてくれる。
- 工事後の対応が良い。
- 意見を良く聞いてくれた。
- 要望を聞いてくれた。

○ 悪かった点
- 悪かった

■５　工事の感想



■６　事業全体評価点数



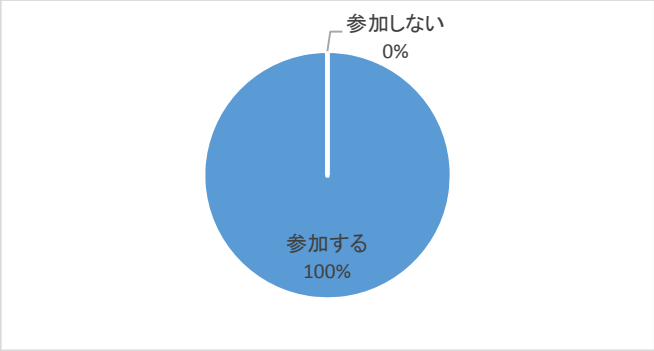
【考察】

全般的に高評価であるが、一部で不誠実との回答もあり。

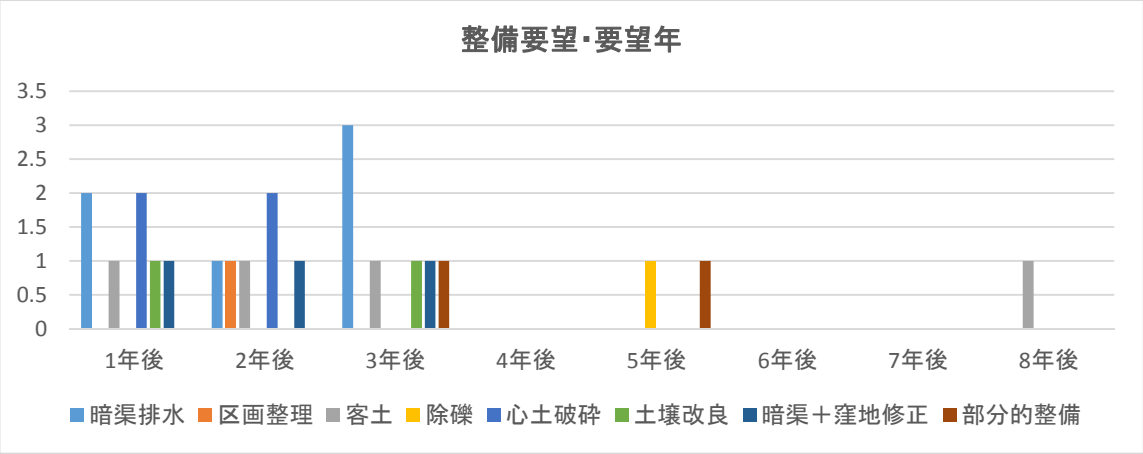
全体的には概ね満足している。

Ⅳ　今後の基盤整備要望について

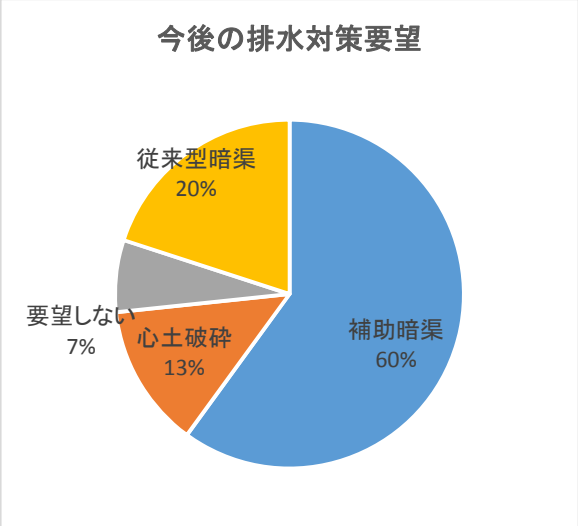
■１　今後も参加しますか？



■２　要望工種・要望年



■３　今後の暗渠排水整備について（補助暗渠を含めた検討）



○従来どおりの工法を希望する理由

- 自分で実施している。
- 心土破砕により破れている。

【考察】

各工種とも１年～３年後に整備要望が有り、緊急性が覗える。

既存の疎水材暗渠に対しては、補助暗渠の要望が６割をしめる。

■４　今後、農業を持続していく上での課題

（１）一番困っていること

- 借地で暗渠等の整備が必要。
- 水の流れ
- 水害、洪水
- 周辺に山林が多いので、日陰が多い。
- 天候不順

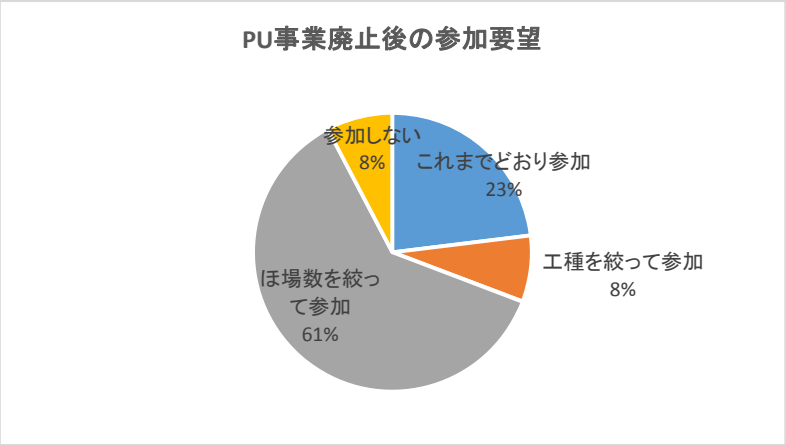
（２）基盤整備により改善できること

- たぶんあると思います。
- 借地継続及び購入によって整備を実施したい。
- めいきょ他
- 川が整備されないとだめ
- 小さい種子を蒔く為に客土により改善されると思う。

■５　今後の基盤整備要望

- 客土整備（火山灰等の確保）
- 部分的に厚く客土を施工してほしい。

■６　パワーアップ事業



○パワーアップ事業について意見要望

- 国や道に予算が少ないので仕方ない。

- 近年は離農者が多く一戸当たりの面積が多くなってきた。作業効率の良いほ場が望まれる為に、受益者負担の「ない」事業が必要と思う。

- パワーアップ事業は今後とも継続して頂きたいです。暗渠排水や客土を必要としているような、条件の悪い畑を多く所有している者にとって、高額な事業費は営農していく上で大変な負担となります。

- パワーアップ事業を今後とも続けていただきたい。

■７　その他

- 国や道の補助が少しでも改善されたら良いが、しばらくは受益者の負担増になっても事業自体は継続していただきたい。

- 補助事業が廃止になった場合は、不耕作地が増える事になると思われる。